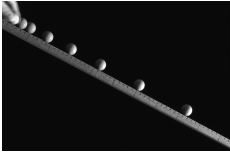
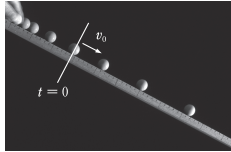
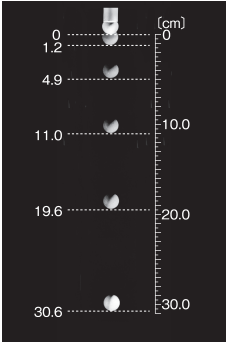
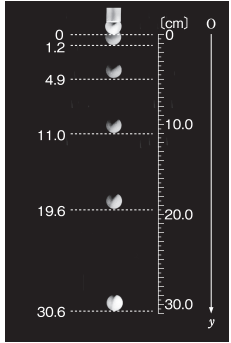
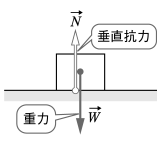
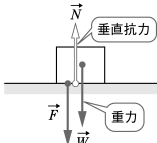


以下の内容について、誤記及び改善のため訂正させていただきます。箇所が複数に渡り、ご迷惑をおかけしますことをお詫び申し上げます。

ページ	該当箇所	誤	正
15	図 1-9		
17	問題 4 の解答	誤 〈略〉	正 〈式(1-7)より、 $t = \frac{v-v_0}{a}$ これを式(1-8)に代入する。〉
25	図 1-19		

ページ	該当箇所	誤	正
49	3~8行, 図	<p>誤</p> <p>水平な床の上に物体が静止している。このとき物体には重力 <math>\vec{W}</math> が働いているが、物体が落下せずにいるのは「床が物体を垂直方向に押し返す力 <math>\vec{N}</math>」が働いているからである。この力を<b>垂直抗力</b>という。<math>\vec{W}</math> と <math>\vec{N}</math> はつりあいの関係にあるので、大きさが等しく (<math>W=N</math>)、向きが逆で、同一作用線上にある。<sup>1)</sup></p>	 <p>図 2-23 垂直抗力</p>
		<p>正</p> <p>床の上に物体を置いたとき、物体は床の面を力 <math>\vec{F}</math> で押す。すると、作用反作用の関係により、床の面は物体と同じ大きさの力 <math>\vec{N}</math> で逆向きに押し返す。この力 <math>\vec{N}</math> を<b>垂直抗力</b>という。物体には、重力 <math>\vec{W}</math> が働いているので、物体が静止しているとき、<math>\vec{W}</math> と <math>\vec{N}</math> はつりあいの関係にある。<sup>1)</sup></p>	 <p>図 2-23 垂直抗力</p>
55	(2-23)の式	$W_{\text{平行}} = f'$	$W_{\text{平行}} \geq f'$
85	(3-13a), (3-13b)の式	$m_1 \vec{v}_{1x} + m_2 \vec{v}_{2x} = M V'_x$ $m_1 \vec{v}_{1y} + m_2 \vec{v}_{2y} = M V'_y$	$m_1 v_{1x} + m_2 v_{2x} = M V'_x$ $m_1 v_{1y} + m_2 v_{2y} = M V'_y$
89	例題 6 の中 3~4行	$\frac{(ev_0)^2}{2}g$ となるから, $\frac{(e \times 5.6)^2}{2} \times 9.8 = 0.90$ より,	$\frac{(ev_0)^2}{2g}$ となるから, $\frac{(e \times 5.6)^2}{2 \times 9.8} = 0.90$ より,
91	11行	<p>誤</p> <p>速度 <math>\vec{v}_A - \vec{v}_B (&gt;0)</math> で近づいてきて衝突し、相対速度 <math>\vec{v}'_A - \vec{v}'_B (&lt;0)</math> で遠ざかっていくことになる。</p>	
		<p>正</p> <p>速度 <math>\vec{v}_A - \vec{v}_B</math> (正の向き) で近づいてきて衝突し、相対速度 <math>\vec{v}'_A - \vec{v}'_B</math> (負の向き) で遠ざかっていくことになる。</p>	

ページ	該当箇所	誤	正
101	下から 7 行分	<p>誤</p> <p>杭から反作用の力 <math>-F</math> を受けて負の加速度で等加速度運動をし、距離 <math>x</math> だけ進んで停止した。このときの加速度を <math>-a</math> とすると、運動の法則より、</p> $m(-a) = -F \quad (4-8)$ <p>である。ここで加速度 <math>a</math> は、等加速度運動の公式(1-9)より、</p> $a = -\frac{v^2}{2x} \quad (4-9)$ <p>と表される。式(4-9)を式(4-8)に代入し、その結果を式(4-7)に代入す</p>	
		<p>正</p> <p>杭から力 <math>F'</math> を受けて等加速度運動をし、距離 <math>x</math> だけ進んで停止した。このときの加速度を <math>a'</math> とすると、運動の法則より、</p> $ma' = F' \quad (4-8)$ <p>である。ここで加速度 <math>a'</math> は、等加速度運動の公式(1-9)より、</p> $a' = -\frac{v^2}{2x} \quad (4-9)$ <p>と表される。式(4-9)を式(4-8)に代入すると、<math>F' = -\frac{mv^2}{2x}</math> となる。<math>F'</math> は <math>F</math> と作用反作用の関係にあるので、<math>F = -F'</math> である。</p>	
102	1 行	ると、	よって、式(4-7)より、
114	解(2)	$W = f'x = \frac{\mu' mgh \cos \theta}{\sin \theta}$	$W = f'x = -\frac{\mu' mgh \cos \theta}{\sin \theta}$
	解(3)	$\frac{1}{2}mv_0^2 + mgh = mgh$ $(= mgh - f'x)$	$K + U_{\text{重力}} = mgh$ $(= mgh + f'x)$
	問題 18 の解答	<49 J, 69 J>	<-49 J, -69 J>
124	14 行	<p>誤</p> <p>乗客が感じる遠心力 <math>\vec{F}_{\text{遠}}</math> は、大きさがバスに働く向心力と同じで、向きは向心力と逆である。</p>	
		<p>正</p> <p>乗客が感じる遠心力 <math>\vec{F}_{\text{遠}}</math> は、大きさが向心力と同じで、向きは向心力と逆である。</p>	

ページ	該当箇所	誤	正
131	例題 4 の解	角振動数 $\omega = \frac{\pi}{4} = 0.79 \text{ s}$	角振動数 $\omega = \frac{\pi}{4} = 0.79 \text{ rad/s}$
	問題 2(1)の解	$\pm 0.42 \text{ m/s}$	$0.42 \text{ m/s}$
134	例題 5(4)の解	誤 $x = 0.03 \times \sin(14 \times 0.50) = 0.0037 \text{ m}$ $v = 0.03 \times 14 \times \cos(14 \times 0.50) = 0.42 \text{ m/s}$ 上向き	
		正 $x = 0.03 \times \sin(14 \times 0.50) = 0.020 \text{ m}$ $v = 0.03 \times 14 \times \cos(14 \times 0.50) = 0.32 \text{ m/s}$ 上向き	
160	(7)の式	$8.35 \leq x \leq 8.36$	$8.35 \leq x \leq 8.37$
161	(10)(11)(12)の式	$2.57 \leq x < 2.59, 0.20 \leq y < 0.22$ $2.57 \times 0.20 \leq S < 2.59 \times 0.22$ $0.5140 \leq S < 0.5698$	$2.57 \leq x \leq 2.59, 0.20 \leq y \leq 0.22$ $2.57 \times 0.20 \leq S \leq 2.59 \times 0.22$ $0.5140 \leq S \leq 0.5698$